

iFree 新興国株式インデックス

<3313>

追加型投信／海外／株式／インデックス型
日経新聞掲載名：i F 新興株

第10期 2026年7月6日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国の株式に投資し、投資成果をFTSE RAFI エマージング インデックス（円換算）の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第10期末	基準価額	34,298円
	純資産総額	44,852百万円
第10期	騰落率	36.2%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0331320260706◇

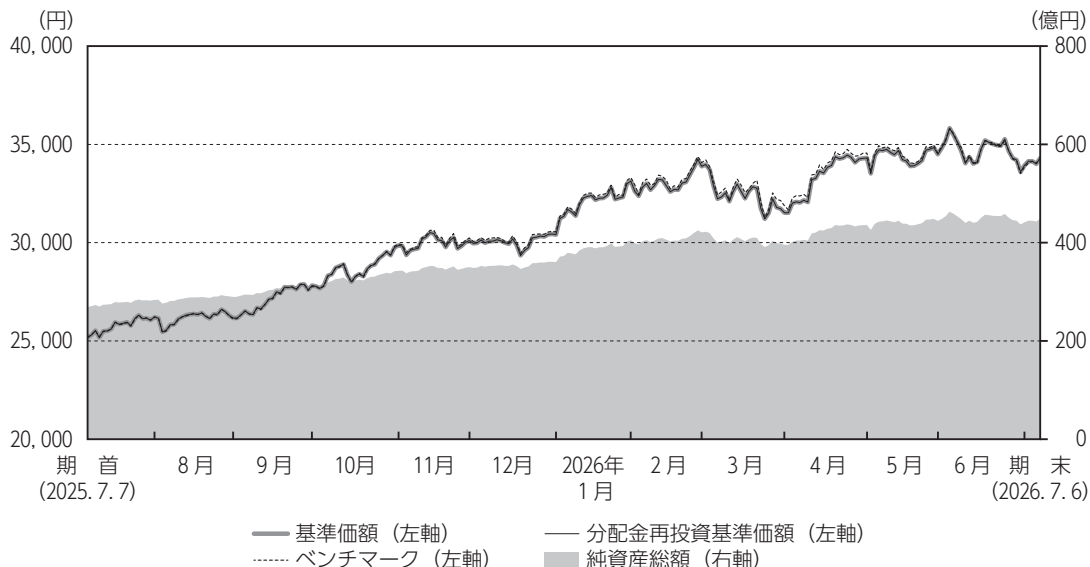
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは FTSE RAFI エマージング インデックス（税引後配当込み、円換算）です。

基準価額・騰落率

期首：25,174円

期末：34,298円（分配金 0 円）

騰落率：36.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ベンチマークへの連動をめざした運用を行いました。新興国株式市況が上昇したことや、新興国為替相場が対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 7. 8～2026. 7. 6)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	115円	0. 373%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は30,767円です。
(投 信 会 社)	(64)	(0. 208)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0. 143)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0. 022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	20	0. 064	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0. 055)	
(先物・オプション)	(1)	(0. 004)	
(投 資 証 券)	(2)	(0. 005)	
有価証券取引税	14	0. 045	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(14)	(0. 045)	
そ の 他 費 用	64	0. 207	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(29)	(0. 093)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(33)	(0. 108)	インドキャピタルゲイン税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	212	0. 689	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

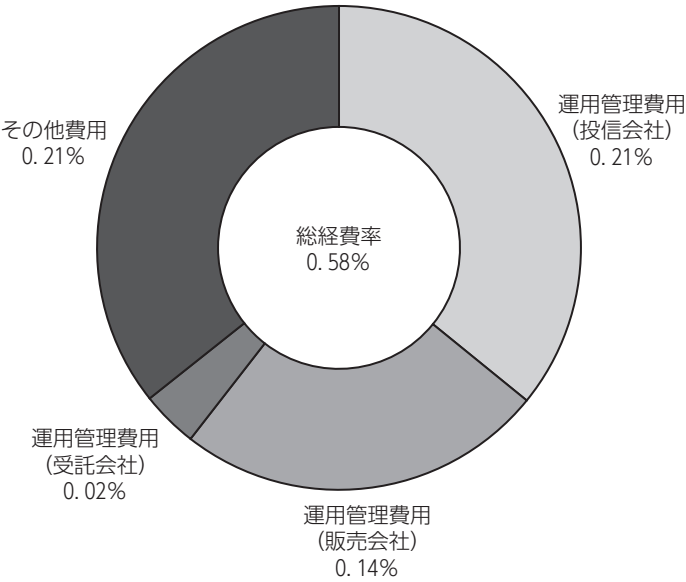
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

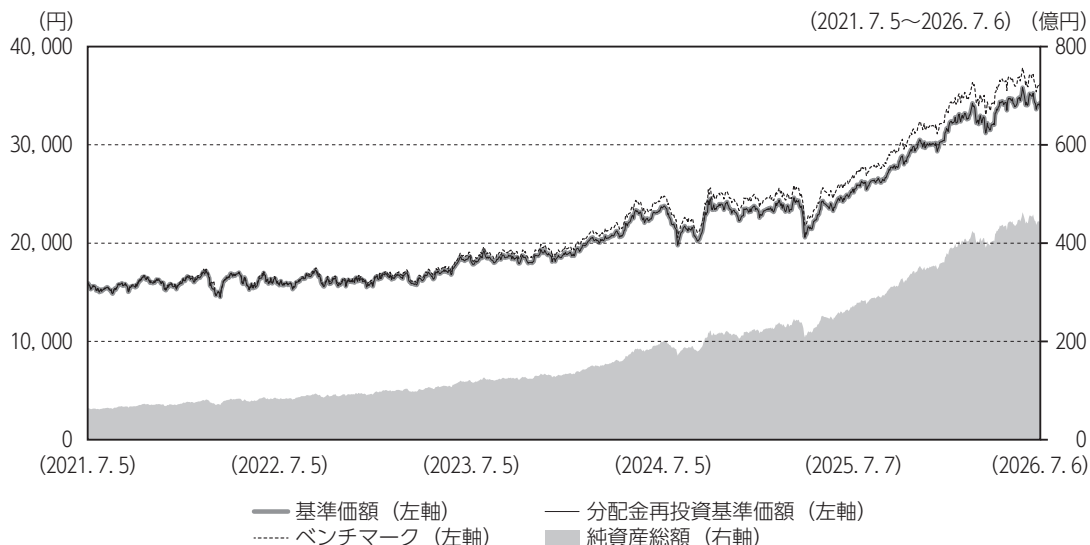
■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2021年7月5日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2021年7月5日 期初	2022年7月5日 決算日	2023年7月5日 決算日	2024年7月5日 決算日	2025年7月7日 決算日	2026年7月6日 決算日
基準価額 (円)	15,922	16,013	18,664	23,718	25,174	34,298
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	0.6	16.6	27.1	6.1	36.2
FTSE RAFI エマージング インデックス (税引後配当 込み、円換算) 騰落率 (%)	—	1.2	18.4	29.6	7.5	36.2
純資産総額 (百万円)	6,417	8,371	12,152	19,976	26,920	44,852

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSE RAFI エマージング インデックス (税引後配当込み、円換算) は、FTSE International Limited の承諾を得て、FTSE RAFI エマージング インデックス (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE International Limited と Research Affiliates LLC に帰属します。また、FTSE International Limited は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2025. 7. 8 ~ 2026. 7. 6)

■新興国株式市況

新興国株式市況は上昇しました。

新興国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）の早期利下げ期待が継続したことなどから上昇しました。その後も、2025年10月末まで、世界的なハイテク株高の流れや中国の景気支援策、米国の利下げ期待の高まりなどを受け堅調に推移しました。11月に入ると、一時的に半導体・ハイテク株の高バリュエーション懸念などから下落する局面も見られたものの、2026年の年明け以降は、A I（人工知能）・半導体ブームが継続してテクノロジー関連株が市場をけん引し、さらに米国におけるトランプ関税の違憲判決により相互関税をめぐる不透明感が低下したことなどを受け、上昇基調で推移しました。3月に入ると、中東地域での武力衝突により原油価格の高騰やサプライチェーン（供給網）の寸断リスクが顕在化したことから大きく調整したものの、その後は、米国とイランの停戦合意や半導体関連企業の堅調な決算などをを受けて上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

新興国為替相場は対円で上昇（円安）しました。

新興国為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の上昇や、日本の参院選を前に財政悪化懸念が強まったことなどから、2025年7月末にかけて円安が進行しました。8月には、米国の利下げ観測などを背景に米ドル安円高が進行し一時的に新興国通貨もまちまちな値動きとなったものの、9月以降は、米国の利下げ期待を背景にしたリスク選好姿勢の強まりや、自民党総裁選で高市氏が勝利したこと、日本の大型補正予算案による財政悪化懸念を受けて再び上昇しました。2026年に入ると、1月に為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したことや、4月末から5月上旬に日本が円買い介入を実施したことなどから一時的に大きく下落（円高）する局面も見られたものの、当作成期末にかけては、中東情勢の沈静化期待で市場のリスク回避姿勢が後退し反発しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として「ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド」の受益証券に投資します。

■ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2025. 7. 8 ～ 2026. 7. 6)

■当ファンド

「ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド」の受益証券組入比率をおおむね100%程度に維持しました。

■ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド

新興国の株式に投資し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら運用を行いました。

ポートフォリオ構築にあたっては、FTSE RAFI エマージング インデックスの組入比率上位銘柄を中心に投資し、一部の国では、D R（預託証券）等の組み入れを行いました。また、効率性の観点からE T F（上場投資信託証券）および株価指数先物を利用し、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

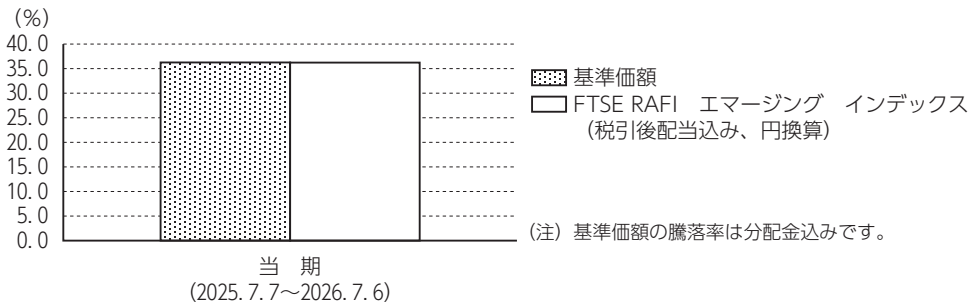
組入ファンド	ベンチマーク
ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド	FTSE RAFI エマージング インデックス（税引後配当込み、円換算）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は36.2%、当ファンドの基準価額の騰落率は36.2%となりました。

売買手数料・保管費用等のコスト負担が、マイナス要因となりました。なお、組み入れている株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、株価指数先物とベンチマークとの騰落率の差異、ファンドとベンチマークの為替評価基準のずれも、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークは FTSE RAFI エマージング インデックス (税引後配当込み、円換算) です。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2025年7月8日 ～2026年7月6日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	24,298

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として「ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド」の受益証券に投資します。

■ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。



お知らせ

■ベンチマークの変更について

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である「ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド」は、「FTSE RAFI エマージング インデックス（円換算）」をベンチマーク（基準価額の連動対象）とするインデックスファンドですが、指数を利用するために負担する費用を削減するため、ベンチマークを類似する指数である「RAFI ファンダメンタル・セレクト・エマージング・マーケッツ350インデックス（配当込み、円換算）」に変更する予定です。
（変更実施日：2026年10月 1 日）

■運用管理費用（信託報酬）の料率引き下げについて

運用管理費用（信託報酬）の料率（税抜き）を、年率0.34%から年率0.32%に引き下げる予定です。
（変更実施日：2026年10月 1 日）

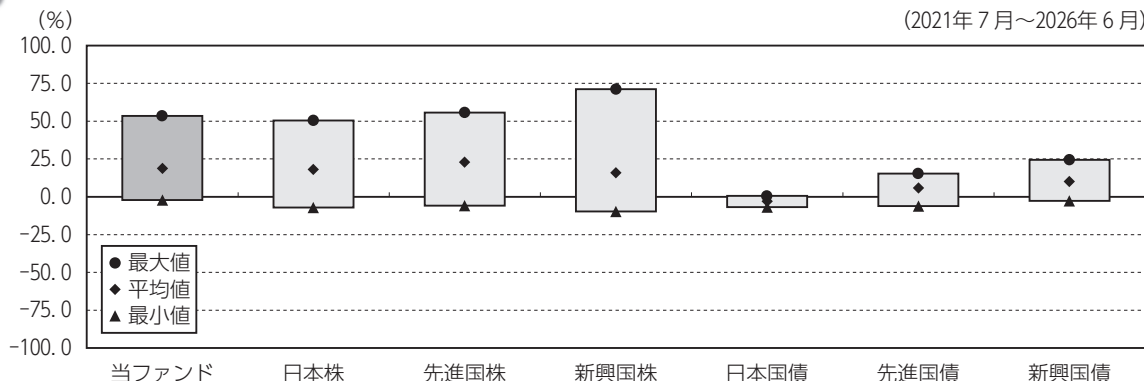


当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限（設定日：2016年 9 月 8 日）	
運 用 方 針	投資成果を FTSE RAFI エマージング インデックス（円換算）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 対 象	ベビーファンド	ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンドの受益証券
	ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド	1. 新興国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） 2. 新興国の企業の DR（預託証券） 3. FTSE RAFI エマージング インデックスとの連動をめざす E T F（上場投資信託証券）
マザーファンドの運用方法	①主として、新興国の株式（DRを含みます。以下同じ。）（※）に投資し、投資成果を FTSE RAFI エマージング インデックス（円換算）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。 ※効率性の観点から FTSE RAFI エマージング インデックスとの連動をめざす E T F に投資する場合があります。 ②株式および E T F の組入比率の合計は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とし ます。 ③運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等や外国為替予約取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額ならびに株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。また、外貨建資産の組入総額ならびに外国為替予約取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあ ります。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
最大値	53.5	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
平均値	18.8	18.2	23.0	15.9	△ 2.9	5.9	10.0
最小値	△ 2.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基になっているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



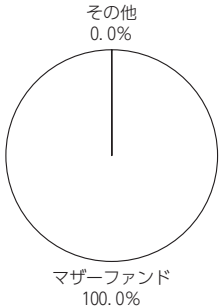
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

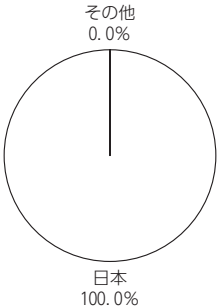
組入ファンド等

	比 率
ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド	100.0%
その他	0.0

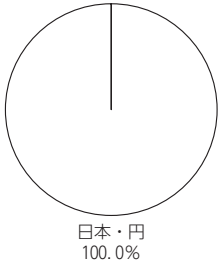
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注 1) 上記データは2026年7月6日現在のものです。
(注 2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注 3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
* 当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当 期 末
	2026年7月6日
純資産総額	44,852,512,100円
受益権総口数	13,077,215,247口
1万口当り基準価額	34,298円

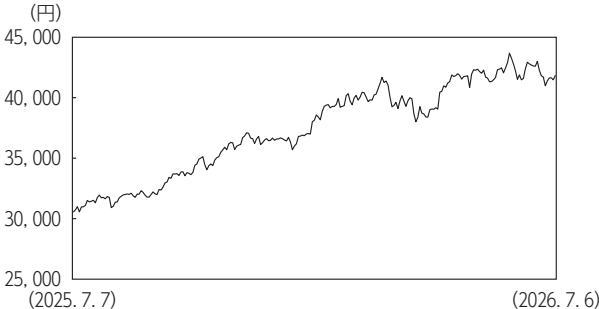
* 当期中における追加設定元本額は4,005,439,955円、同解約元本額は1,622,033,209円です。
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ新興国株式ファンダメンタル・インデックス・マザーファンド

(作成対象期間 2025年 7月 8日～2026年 7月 6日)

■基準価額の推移



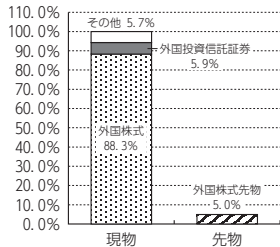
■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資証券)	24円 (21) (1) (2)
有価証券取引税 (株式)	17 (17)
その他費用 (保管費用) (その他)	75 (35) (40)
合 計	116

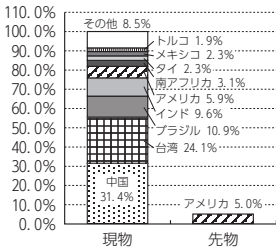
■組入上位銘柄

銘 柄 名	通 貨	比 率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾・ドル	6.8%
INVESCO RAFI EMERGING MARKETS ETF (ETF)	アメリカ・ドル	5.9
MSCI EMER MKT INDEX (ICE) SEP 26 買	アメリカ・ドル	5.0
VALE SA	ブラジル・レアル	2.3
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	2.2
MEDIATEK INC	台湾・ドル	2.2
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	2.1
HON HAI PRECISION INDUSTRY LTD	台湾・ドル	1.8
INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF	香港・ドル	1.7
PETROLEO BRASILEIRO PREF SA	ブラジル・レアル	1.6
組入銘柄数	429銘柄 (先物含む)	

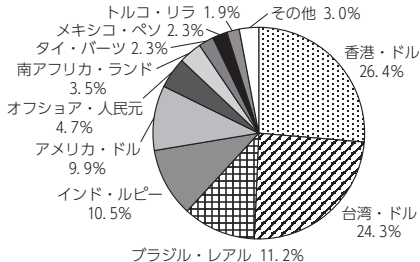
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注 1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注 2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注 4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注 5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

「iFree 新興国株式インデックス」は、いかなる形式においても FTSE International Limited (以下「FTSE」)、ロンドン証券取引所グループ会社 (以下「LSEG」)、または Research Affiliates LLC (以下「RA」) (以下、総称して「ライセンサ各社」) によって出資、保証、販売、または販売促進されることはありません。また、ライセンサ各社はいずれも、明示的にも黙示的にも当該インデックスの使用から得られる結果や特定の日時における指数値について何ら保証や表明を行うことはありません。当該指数はまた RA と共同し FTSE によってルールに基づき計算されます。いずれのライセンサ各社も、指数における瑕疵については (過失の有無に関わらず) 何人に対しても責任を負わず、またそれについて通知する義務も負いません。FTSE® は LSEG の商標です。Fundamental Index® および RAFI® は Research Affiliates, LLC の登録商標です。

The iFree Emerging Equity Index is not in any way sponsored, endorsed, sold or promoted by FTSE International Limited ("FTSE"), by the London Stock Exchange Group companies ("LSEG"), or by Research Affiliates LLC ("RA") (collectively the "Licensor Parties"), and none of the Licensor Parties make any warranty or representation whatsoever, expressly or impliedly, either as to the results to be obtained from the use of the FTSE RAFI Emerging Index (the "Index") and/or the figure at which the said Index stands at any particular time on any particular day or otherwise. The Index is compiled and calculated by FTSE in conjunction with RA. None of the Licensor Parties shall be liable (whether in negligence or otherwise) to any person for any error in the Index and none of the Licensor Parties shall be under any obligation to advise any person of any error therein.

FTSE® is a trade mark of LSEG. The trade names Fundamental Index® and RAFI® are registered trademarks of Research Affiliates, LLC.